

# 西上浦

## 古江フットパス地図

～四季の花と果樹を楽しもう～

### 季節の花と果樹と樹の花

春…桜  
夏…アジサイ  
秋…金木犀、コスモス  
冬…はっさく、甘夏  
スイセン



1864年ごろ、大和和尚が佐伯藩主毛利和慶を建立されたとの由来を持つ三照庵。四国八十八か所巡りの八十四番札所でもあり、ここは昔小学校でした。

言い伝えによると、古江には鎌倉時代から水軍があって、戦国時代には大友宗麟に仕えていました。江戸時代には津久見沖で遭難したリーフデ号を助けたそうです。三照庵の裏の殿上山は途中までしか登れませんが、古江の集落を一望できます。

古江水軍がキリシタン大名の大友宗麟に仕えていたことや、リーフデ号との関わりもあって、六地藏の中には顔が聖母マリアに似ているお地藏さんがあり、隠れキリシタンの面影が感じられます。

お隣の晴干(ひるほし)と古江の青年団の若者たちが、この小さな浜でデートをしていたので「愛の鼻」と呼ばれるようになったとか。海藻やいろいろな種類の貝がある岩場ですが、足が滑りやすいので要注意！  
「愛の鼻」にわたる道はカーブしていて横断歩道がないので気を付けてね！

狩生駅からバス停まで1.1 km。歩いて15～20分くらいです。

ここからは海の絶景ポイント！  
向かって左から宮島(カンドウ)、地の鼻(チノハナ)、村ハエ(ムラハエ)の三つの岩礁が見えます。  
※狩生駅からは、途中トンネルがあったり歩道が狭かったりするので気を付けてね！



トンネルを抜けた所から見える景色

**拡大**  
左から宮島(カンドウ)、村ハエ、地の鼻(チノハナ)

### 古江 花と果樹と樹の花フットパスコース

A. 基本コース(赤線) ～約1時間～  
B. Aコース+スイセンの道(桃線) ～Aコース+約5分～  
C. Aコース+桜並木(紫線) ～Aコース+約8分～  
D. Aコース+金木犀の道(青線) ～Aコース+約4分～  
E. 全部回ってみよう！ 逆回りも違った景色が見えて楽しいよ！

- ◇トイレは三照庵の中に一つあり、平日はお願いすれば郵便局のトイレも使うことができます。後の人たちのためにも、きれいに使ってね！大雨の時は三照庵に避難してください。
- ◇のどが乾いたら、郵便局の向かいに飲み物の自動販売機があります。
- ◇狭い路地が、迷路のように張り巡らされていて、歩くとても面白いです。道や路地で住民に出会ったら元気に挨拶してね！
- ◇古江の皆さんが大切に育てている果樹や花は、眺めたり写真を撮るのはOK。

※この地図は彦陽中の子どもたちや大分大学の教授、APUの学生さんと共に西上浦地域振興協議会とあまべ文化研究所が作成しました。